



シャトレーゼ、不祥事受け「足元固め」

BREAKING
NEWS

JR 東日本グループも見習うべき、成長戦略の一時停止

全国に店舗を展開する人気菓子チェーン「シャトレーゼ」が、相次ぐ不祥事を受け、当面の出店計画を凍結する方針を明らかにしました。

同社は近年、急速な店舗拡大を続けてきましたが、取引や労務管理をめぐる問題等が報じられ、社会的信頼の回復が課題となっていました。

社長は記者会見で「まずは法令順守・内部統制を徹底し、従業員が安心して働ける環境を整えることを最優先にする。成長は一時的に止める」ことを強調しました。



※ イラストはイメージです。

■ 何があっても「持続的な成長」を譲らない JR 東日本グループ

安全や法令遵守よりも効率性や収益力を優先した結果、鉄道の運行トラブルや不祥事が相次ぐ JR 東日本グループも「志の高い企業グループ」として持続的な成長を目指す前に「まずは足元を固める」という経営判断を見習うべきです。

事業の成長・拡大や業務の効率化だけでなく、安全や労働環境、法令順守を最優先に据える経営姿勢こそ、全てのステークホルダーへの真の信頼回復の基盤です。